

予算特別委員会委員長報告

ただいま議題となりました令和8年度神戸市各会計予算及び関連議案、合計64議案について、委員会審査の経過並びに結果についてご報告申し上げます。

全国的に少子・高齢化に伴う人口の自然減が加速する中、本市においても人口減少の傾向が顕著になっています。そのため、人口増加時代とは異なる新たな価値観や、本市が保有するデータやエビデンスに基づいた政策立案（EBPM）により、人口減少時代にふさわしいまちづくりを進めていくことが重要です。

また、昨年には、神戸空港で国際チャーター便の運用が開始されました。2030年の国際定期便の就航も見据え、新たな国際都市として、神戸を確かな成長へと導く大変重要な年となります。

こうした中、令和8年度予算案では、市民一人ひとりが幸せを実感できるまちづくりを進める施策、また、都心・ウォーターフロント、既成市街地・ニュータウン、森林・里山の3つの再生を新たな発想のもとで取り組み、神戸を新たな国際都市へと進化させる施策、さらに、投資の好循環の創出に向けた果敢な成長戦略の施策等、様々な提案がなされました。

委員会は、去る2月25日に議案の付託を受けて以来、3つの分科会を設け、2月26日から3月9日まで局別審査、さらに12日には市長・副市長等に対する総括質疑を行いました。

それでは、委員会審査において議論となりました主な事項について、簡単にご報告申し上げます。

まず、市政全般に関するものとして、神戸2030ビジョン、神戸空港・空港島の将来構想、都心三宮再整備、市バスの存在意義、施設の料金改定、外郭団体改革、職員の人材確保策、などについて議論がありました。

次に、施策別では、「経済・産業・観光」に関しては、今後の観光施策、地域再生の推進、神戸港の港勢、新長田・京橋地区・六甲マリナーパークの再整備、HAT神戸・ポートアイランドの活性化、新・神戸文化ホールの活用、自動運転・自転車施策の推進、商店街・小売市場の活性化などについて、

「子育て・教育」に関しては、病児保育・児童養護施設の充実、産後ケア事業

の推進、コベカツの推進、不登校支援などについて、

「健康・福祉・環境」に関しては、市民病院の運営、しあわせの村リニューアル、路上喫煙対策、フードシェアリングの促進、などについて、

「安全・安心なまちづくり」に関しては、スポンジ化対策、防犯カメラの拡充、地域コミュニティ交通の維持、避難所対策、マンションの適正管理などについて、様々な議論がありました。

委員会では、このような審査の後、3月12日に森本真委員ほか7名から予算の編成替えを求める動議及び第22号議案に対する修正案が提出されました。16日には各会派から委員会審査を踏まえての要望事項を含む意見表明が行われ、その後、意見決定を行いました。

その結果、物価高騰への対応、公共施設の縮小などを理由とする反対意見もありましたが、「神戸市基本計画」「神戸2030 ビジョン」に掲げる施策の展開により、神戸を新たな国際都市へと進化させるとともに、果敢な成長戦略による投資の好循環を創出し、持続可能な大都市経営を実現するための施策が積極的に盛り込まれた予算となっていると判断できることから、委員会は動議及び修正案を否決した上で、令和8年度神戸市各会計予算及び関連議案、合計64議案については、いずれも原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、委員会審査の経過並びに結果についてご報告申し上げます。

終わりに当たり、委員会運営に終始ご協力をいただきました副委員長、理事の皆様、並びに連日熱心な審査を賜りました委員の皆様にご心から敬意と感謝の意を表しまして、報告を終わります。